

薬局・薬剤師という医療的社会資源を活かす

対物業務の効率化への 取り組み

 ファルメディコ株式会社

狭間 研至

1

(c) Kenji Hazama, M.D., Ph.D., All Rights Reserved

医師・薬局経営者の立場から

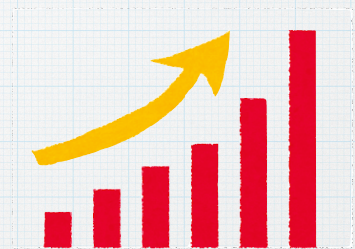
ポリファーマシー



医師の過労問題



増大する医療費



6万軒の薬局・24万人の薬剤師の活用！

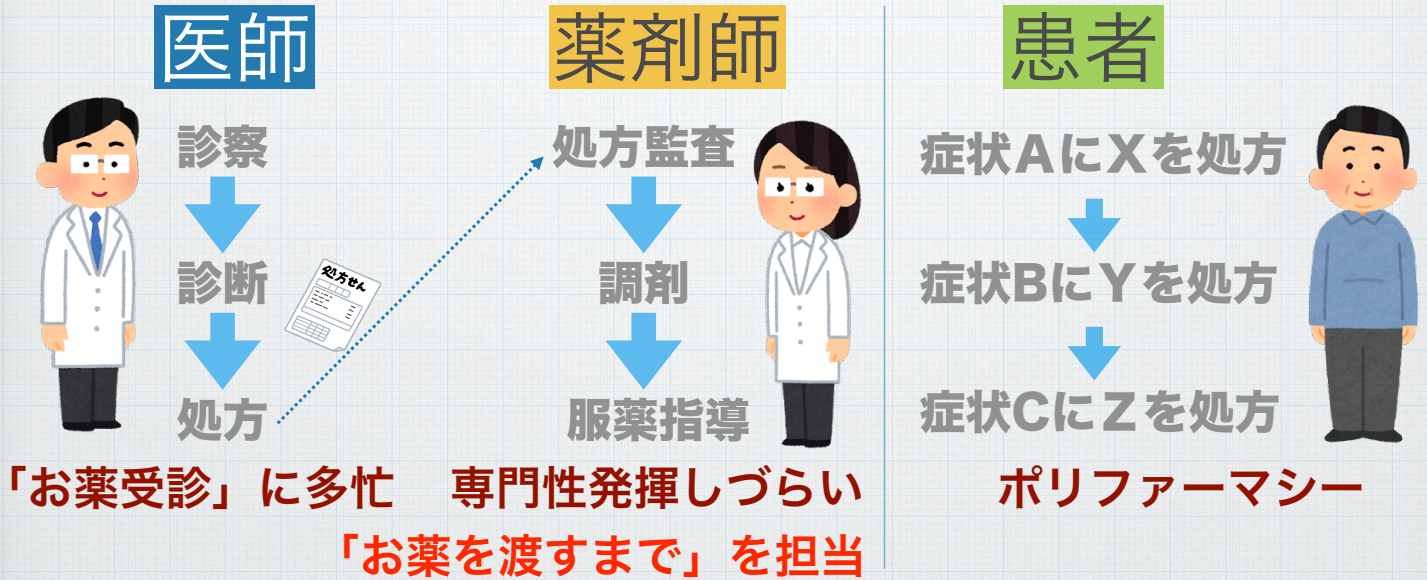
薬剤師の仕事が、薬を渡すまで（対物）からのんだ後（対人）までにシフトすることが重要

2

(c) Kenji Hazama, M.D., Ph.D., All Rights Reserved

薬剤師が**対物業務**に専念する場合

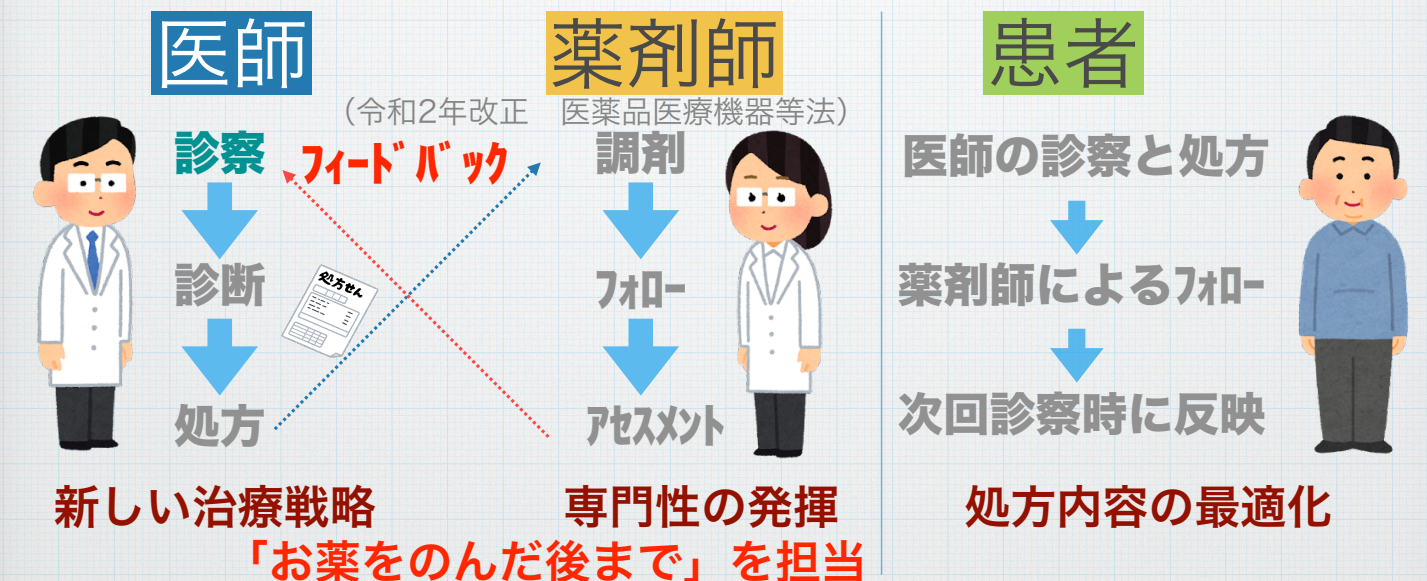
医薬**分業**型モデル



3

薬剤師が**対人業務**まで担う場合

医薬**協業**型モデル



4

在宅での「医薬協業」の効果

対人業務



訪問診療同行



単独訪問

服用薬剤調製支援料

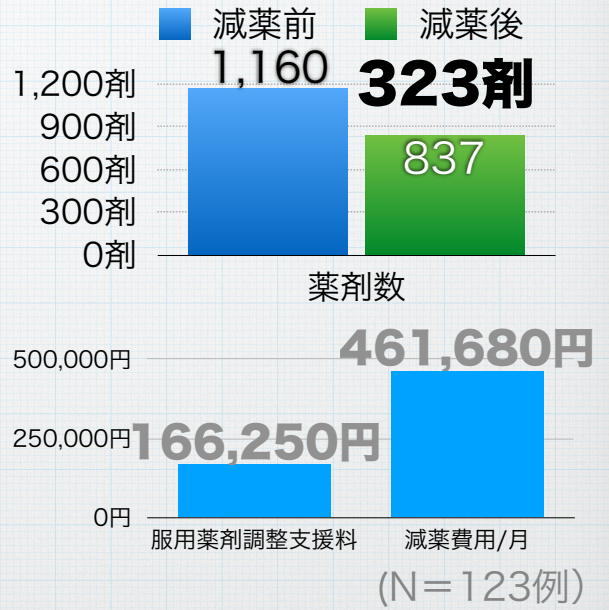


調剤



配薬・服薬支援

対物業務



(安里ら 在宅薬学. 2020, 7, 33-41)

(c) Kenji Hazama, M.D., Ph.D., All Rights Reserved

対人業務にシフトできない理由

対人業務を行うには
薬剤師が忙しすぎる



業務整理と機械化
非薬剤師の活用

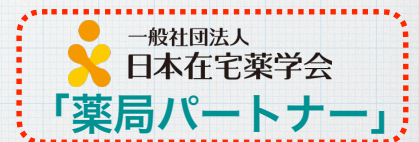
対人業務を行うと
薬局の採算が合わない



調剤報酬の改定
非薬剤師の活用

非薬剤師活用の効果

- ・ 薬剤師の時間を創出
- ・ 人件費を適正化



課題：薬剤師法19条
「調剤」行為は
薬剤師の独占業務

居宅療養管理指導という対人業務

対人業務



(2021年1月～12月)

105,869回

40名の薬剤師



220回/月

1名の薬剤師



対物業務

+ 外来調剤業務も…!

薬局パートナーの業務領域

薬学的専門性

薬剤師

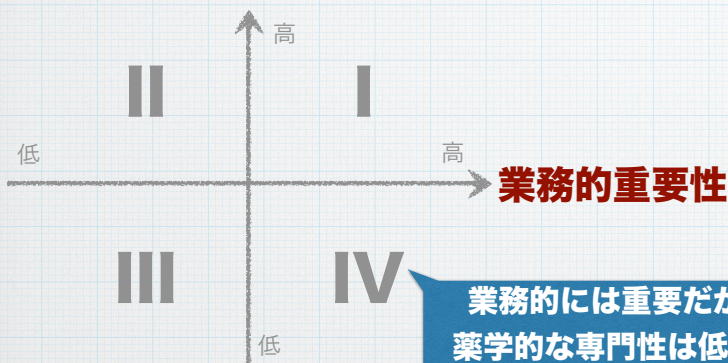
- ・ 処方箋に基づく指示
- ・ 最終的な確認

薬局パートナー



一般社団法人
日本在宅薬学会

- ・ 医薬品の取り揃え
- ・ 監査前の数量の確認
- ・ 納品/配薬支援/居宅契約等



0402事務連絡 (薬生発0402第1号 平成31年4月2日)

- ・ 当該薬剤師の目が現実に届く限度の場所で実施されること
- ・ 薬剤師の薬学的知見も踏まえ、処方箋に基づいて調剤した薬剤の品質等に影響がなく、結果として調剤した薬剤を服用する患者に危害の及ぶことがないこと
- ・ 当該業務を行う者が、判断を加える余地に乏しい機械的な作業であること

手順書の整備

研修の実施

一般社団法人 日本在宅薬学会

(2009年設立 会員数1500名 薬剤師認定制度認証機構認定：P03)



手順書
(A4 180ページ)



e-learning
(4領域25コンテンツ)



研修会
(リアル・オンライン)



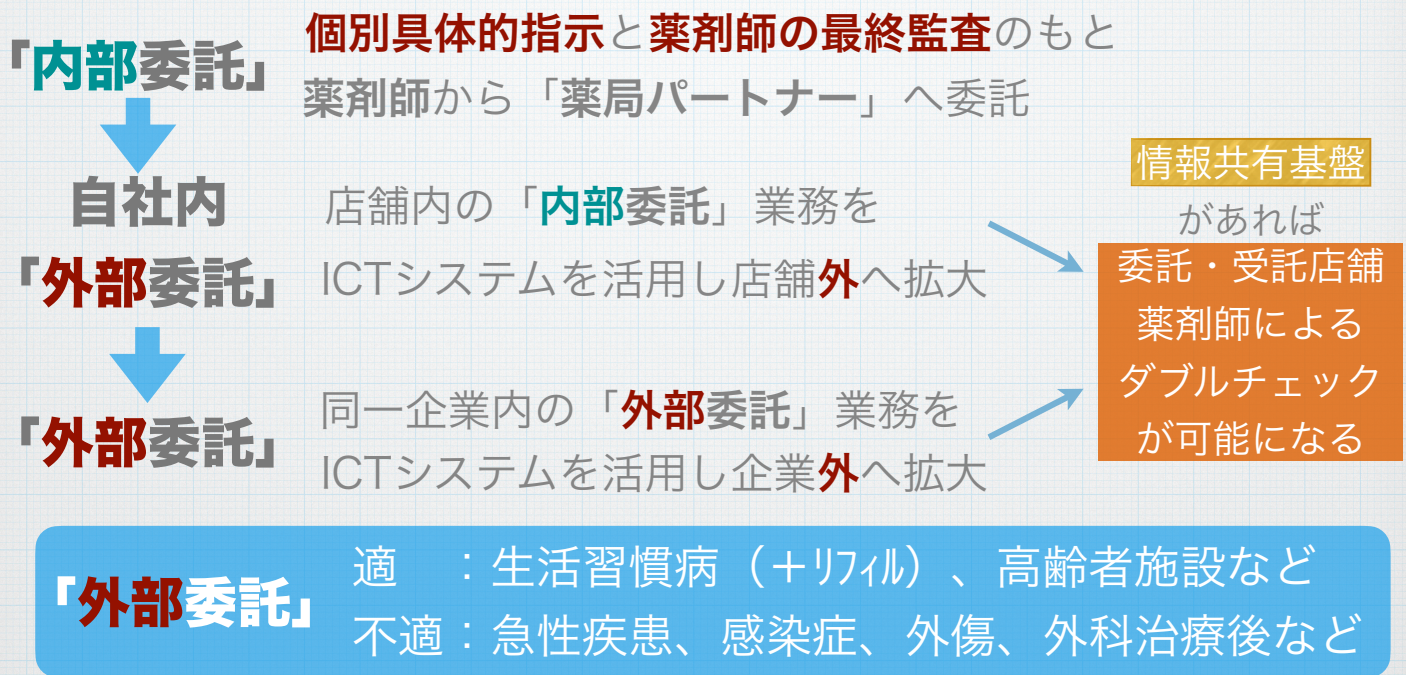
2018年～年2回検定試験
241名が合格

(c) Kenji Hazama, M.D., Ph.D., All Rights Reserved

0402通知に基づく調剤業務の「内部委託」



内部委託から外部委託へ



11

(c) Kenji Hazama, M.D., Ph.D., All Rights Reserved

「外部委託」が安全に行われるには？

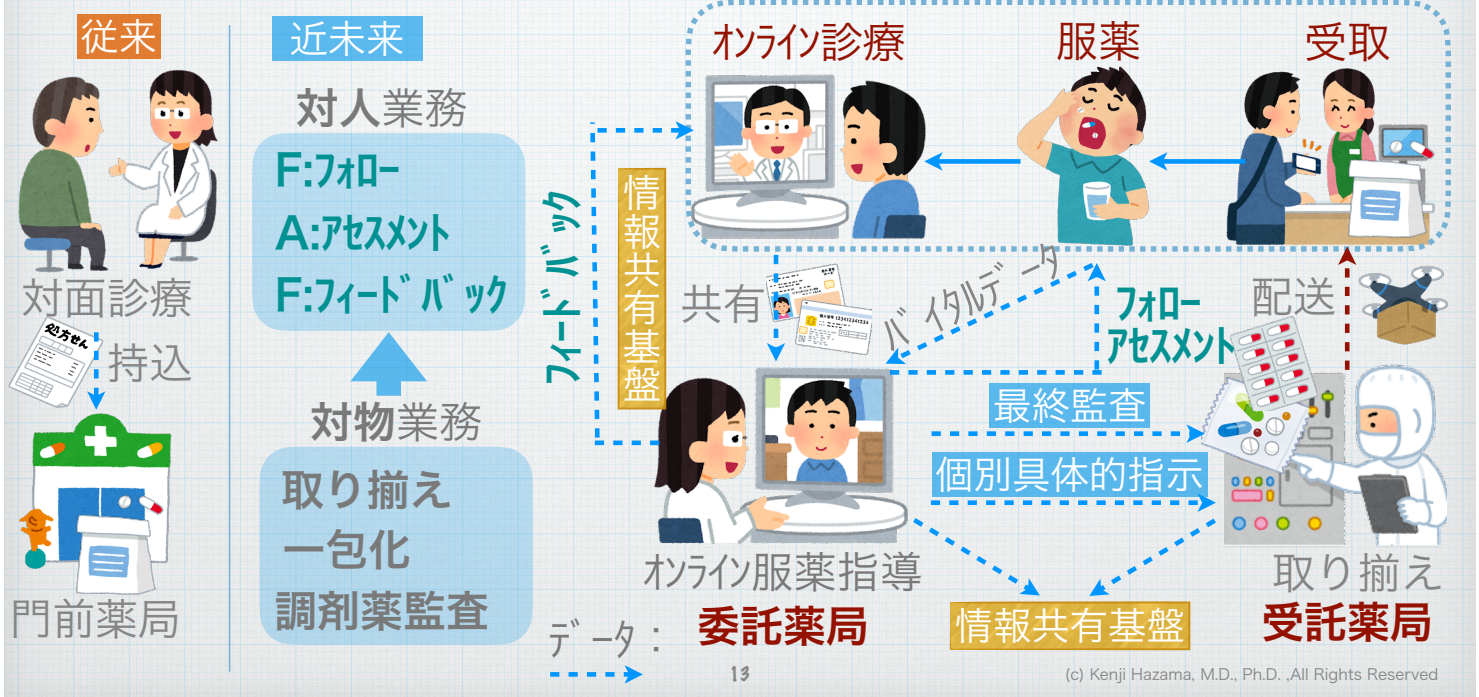
- * 委託薬局では、**0402通知に基づいた対物業務の効率化**が相当行われていること（**内部委託**から外部委託への移行）
- * 受託薬局は、委託薬局からの**患者毎の個別具体的指示**に則って、対物業務を行っていること（**内部委託**の発展型）
- * **リアルかオンライン**のいずれかで、**委託薬局が調剤薬の最終監査**を行える体制ができていること（**内部委託**のキモ）

「外部委託」では法的責任の整理は必須

12

(c) Kenji Hazama, M.D., Ph.D., All Rights Reserved

情報共有基盤とデータ連携が必須



対物業務の効率化と薬局機能の保持



薬局・薬剤師が地域の対物+対人業務を担うためには？

1. 受託薬局も、他と同じ薬局機能を保持することが必要
2. 受託薬局は、委託薬局の薬剤師の指示で「薬局パートナー」が動く機能を持つ

リフィル処方箋+オンライン服薬指導は「外部委託」との親和性が高い！？

いわゆる「40枚規制」について

- * **機械化の進展**により、医薬品調製の在り方が変わっている
- * 0402通知により、**薬剤師業務の対人シフト**は進んでいる
- * 1日あたりの業務量制限は**対人業務の専門職**にはそぐわない

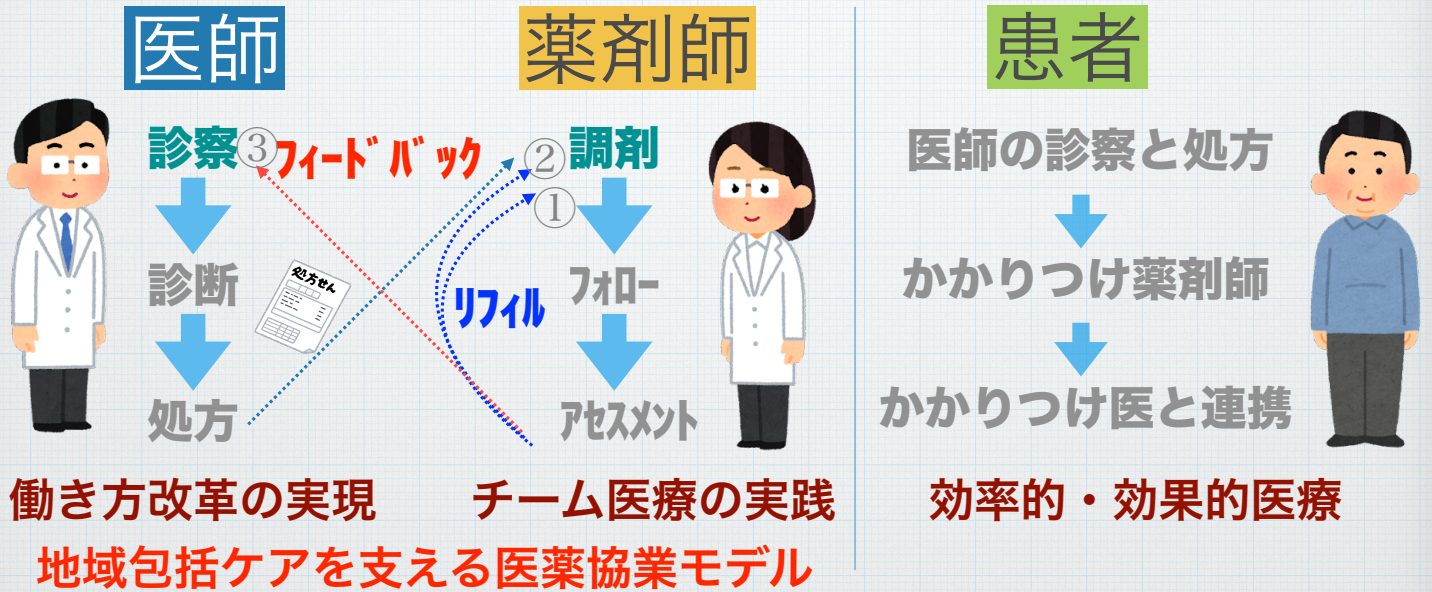
規制そのものも**見直す時期**に来ているのではないか

薬局DXは社会資源の価値を高める

	従来	令和4年度～	必要なデジタル技術
診療	対面のみ	対面+オンライン	診療システム・電子/ウェアラブルデバイス
処方箋	単回・紙	リフィル+電子	マイナンバーカード・資格確認システム
調剤	薬剤師完結	内部+外部 委託	専用システム・調剤ロボット・遠隔監査
服薬指導	対面のみ	対面+オンライン	情報共有基盤・服薬指導システム
投薬	対面・ 配達・配送	受取BOX・ 自動配送	専用システム・ドローン・自動配送車・ 温湿度管理システム
薬歴	渡すまで	のんだ後も	情報共有基盤・FAFシステム

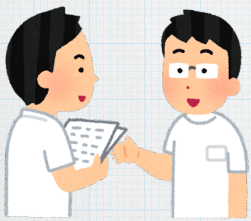
各種データを集積・解析→医療の質向上・疾病予防

リフィル処方箋と対人業務



薬剤師の対人業務が拓く医療の未来

服用後のFAF



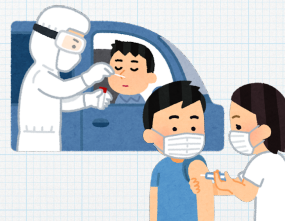
薬物治療の
適正化を推進

プライマリケア



軽い怪我や疾病は
セルフメディケーションで

感染症対策



検査や低リスク
対象者への接種

薬局薬剤師の医薬協業



情報共有基盤
教育プログラム

薬局での採血

緊急避妊薬の販売

薬局での予防接種

← 今後の課題

医師の働き方改革・医療費適正化につながる